

| No. | 事業項目 | 事業名称 | 対象 | | | 備考 | 視点 | | | | 事業内容 | R5年度実施予定 | | R4年度実績 | | 局 | 担当課 | | |
|------|--------|-------------------------|----|-----|----|--------|-----------|-----------|-----------|------------|--|----------|--------|-------------------------------|----------|-------------------------------|-----------------------------------|--|--------|
| | | | 家庭 | 学校等 | 社会 | | 視点1 協働 | 視点2 体験 | 視点3 人材 | 視点4 ICT | | 予定回数 | 参加者予定数 | 備考 | 実施回数 | | | 参加者数 | 備考 |
| 1-1 | 各種普及啓発 | 環境基本計画等の周知 | ○ | ○ | ○ | | ○ | | ○ | | 千葉市内のイベントブース等で環境基本計画についての啓発パネルによる啓発を行う。また、出前講座や出張授業にて当該計画の内容について希望者に講義を行う。 | 随時 | - | - | 3 | - | 環境 | 環境総務課 | |
| 1-2 | 各種普及啓発 | 環境施策のPR動画の周知 | ○ | ○ | ○ | | ○ | | ○ | | 千葉市の未来の環境を守るために、市民に行ってもらいたい行動について、5分程度の短いPR動画を作成する。 | - | - | R5年度に動画の作成 | - | - | 環境 | 環境総務課 | |
| 1-3 | 各種普及啓発 | 生物多様性の理解促進 | ○ | | | | | ○ | ○ | | 市民の生物多様性に対する理解を促進するため、スマートフォンアプリ「ちばしぽ」や谷津田等における市民参加型の生き物調査を実施する。 | - | 600件 | - | 310件 | 環境 | 環境保全課 自然保護対策室 | | |
| 1-4 | 各種普及啓発 | 大気汚染防止のための冬季対策 | ○ | | ○ | | ○ | | | | 冬季に二酸化窒素等の大気汚染物質濃度が高くなる状況にあることから、この間の工場や自動車からの大気汚染物質の排出を抑制することにより、大気汚染を防止し、良好な大気環境の確保を図る。 | 1 | - | | 1 | - | 環境 | 環境規制課 | |
| 1-5 | 各種普及啓発 | 夏季のVOC対策 | ○ | | ○ | | ○ | | | | 九都県市で連携を図り、「夏季のVOC対策」重点実施期間を設定し、光化学オキシダントの主要な原因物質の一つである揮発性有機化合物(VOC)の広域的な対策に取り組む。 | 1 | - | | 1 | - | 環境 | 環境規制課 | |
| 1-6 | 各種普及啓発 | 気候危機行動キャンペーン | ○ | | | | | | ○ | | 「千葉市気候危機行動宣言」発出を機に、地球規模で直面している気候危機を様々な主体が共有し、今自分ができることを考え、実践していくきっかけとなることを目的としてイベント等を実施する。 | 1 | 300 | | 1 | 300 | 環境 | 脱炭素推進課 | |
| 1-7 | 各種普及啓発 | 環境カレンダー製作事業 | ○ | | | | | | ○ | | 電気やガスの使用量を記入する環境家計簿機能を盛り込んだ「ちばしエコライフカレンダー」を作成する。 | 25000部発行 | | | 25000部発行 | 環境 | 脱炭素推進課 | | |
| 1-8 | 各種普及啓発 | 地球環境保全協定の締結 | | | ○ | | ○ | | | | 市と事業者が連携を図りながら、環境にやさしいまちづくりを推進していくため、事業者の方々へ環境保全意識を持ち続け、率先して行動していただくことを目指した罰則規定のない「紳士協定」 | 1 | - | | 1 | - | 環境 | 脱炭素推進課 新規協定締結 0事業者 全締結事業者 843事業者 | |
| 1-9 | 各種普及啓発 | 地球環境保全ポスター募集事業 | | ○ | | | | | | | 小学生を対象に、夏休みに環境問題をテーマとしたポスターを募集し、入賞作品は、環境白書等に掲載し、そごう等で展示する。 | 1 | 350点 | 入賞数 25点 | 1 | 315点 | 35校 | 環境 | 脱炭素推進課 |
| 1-10 | 各種普及啓発 | 次世代自動車の普及啓発 | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 次世代自動車の公用車(FCV)を各イベント等で展示したり、外部給電等のデモンストレーションを実施し、次世代自動車の環境性能や、災害時の有用性等の普及啓発を実施する。 | 1 | 300 | | 2 | 326 | 環境 | 脱炭素推進課 | |
| 1-11 | 各種普及啓発 | 環境キャラクターコンテスト | | ○ | | 中学生を対象 | | ○ | ○ | | 若年層における気候危機や地球温暖化対策に向けた行動変容の促進の一環として、市内中学生を対象とし、環境に配慮した行動や動物などを組み合わせたキャラクターを考案するコンテストを開催する。また、考案されたキャラクターは次年度以降の啓発活動での活用を検討する。 | 1回 | 300人 | R5新規 | - | - | 環境 | 脱炭素推進課 | |
| 1-12 | 各種普及啓発 | プログラミング×脱炭素アイデアコンテスト | | ○ | ○ | 高校生を対象 | | ○ | ○ | | 脱炭素社会実現に向けた行動変容を促進するため、市内高校生を対象に脱炭素行動に関するプログラミングアイデアコンテストを実施する。 | 1回 | 30人 | R5新規新規 | - | - | 環境 | 脱炭素推進課 | |
| 1-13 | 各種普及啓発 | 木育おもちゃの配布 | | ○ | ○ | 市内保育所 | | ○ | ○ | | 幼少期の環境教育を推進するため、市内保育所等に千葉県内の森林整備により搬出された間伐材等を含む木材を使用した木育おもちゃ(積み木)を配布する。 | | | 配布先:29箇所 配布数:積木大小4セットずつ/箇所 | | 配布先:27箇所 配布数:積木大小4セットずつ/箇所 | 環境 | 脱炭素推進課 | |
| 1-14 | 各種普及啓発 | 温暖化対策実行計画の周知 | ○ | ○ | ○ | | ○ | | ○ | | 千葉市内のイベントブース等で環境基本計画についての啓発パネルによる啓発を行う。また、出前講座や出張授業にて当該計画の内容について希望者に講義を行う。 | 随時 | - | | | | 環境 | 脱炭素推進課 | |
| 1-15 | 各種普及啓発 | ごみ減量イベント「へらそうくんフェスタ」の開催 | ○ | | ○ | | | ○ | | | 3R推進月間である10月に商業施設を利用し、パネル展示や分別ゲームなど、ごみの減量・再資源化について学べるイベントを開催する。 | 1 | 300 | 啓発品配布者数 | 1 | 11130329 | スタンプラリー参加者数、こども工作コーナー参加者数、啓発品配布者数 | 環境 | 廃棄物対策課 |
| 1-16 | 各種普及啓発 | 食品ロス削減啓発 | ○ | ○ | ○ | | ○ | | ○ | | 市内小中学校等に対し、校内へのポスター掲示・校内放送での呼びかけ「給食だより」への記事掲載を依頼し、児童・生徒に食品ロス削減について訴求するとともに、各家庭への波及も目指す。 | 1 | 165 | 実施予定回数、実施予定校数 | 1 | 166 | 実施回数、実施校数 | 環境 | 廃棄物対策課 |
| 1-17 | 各種普及啓発 | エコレシビ動画 | | ○ | | 中学校 | | ○ | | | 生ごみとして捨てられてしまう、野菜の皮を無駄なく活用する方法や、家庭で余りがある食品を使い切る方法などを学ぶ「エコレシビ動画」を制作し、家庭科の教材として全市立中学校に配付する。 | - | - | R4に配布した動画の活用を促すとともにアンケートを実施する | - | - | 全市立中学校に配布 | 環境 | 廃棄物対策課 |
| 1-18 | 各種普及啓発 | 割りばし等回収によるバイオマスエネルギーの活用 | | | ○ | | ○ | | | | 「X Games Chiba 2023」等の千葉市内でのイベントにおいて割りばし等を回収し、燃料チップ化してバイオマス発電の燃料にするとともに、一部を脱炭素の啓発に用いる「炭灰体験キット」の材料として活用。 | 1 | - | 5/12~14で実施済 | - | - | 環境 | 廃棄物対策課 | |
| 1-19 | 各種普及啓発 | 浄化槽総合推進事業 | ○ | | ○ | | | | | | 単独処理浄化槽管理者や汲取り便槽利用者への合併処理浄化槽転換促進及び浄化槽管理者への法定検査受検促進、保守点検及び清掃などの適正な維持管理について啓発・指導を行う。 | - | 1,400 | 指導文送付部数 | - | 1,356 | 指導文送付部数 | 環境 | 収集業務課 |
| 1-20 | 各種普及啓発 | 大賀ハスマつりの充実 | ○ | ○ | ○ | | | | | | 大賀ハスマつりの及びYohaSの開催 | 1 | 59000 | 大賀ハスマつりおよびYohaS15日間計 | 1 | 28000 | 大賀ハスマつりおよびYohaS12日間計 | 都市 | 緑政課 |
| 1-21 | 各種普及啓発 | 花いっぱい市民活動 | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | 花のあふれるまちづくりを実現するため、春と秋に花苗配布の助成を行う。 | 2 | 503 | 登録団体数 | 2 | 497 | 登録団体数 | 都市 | 緑政課 |
| 1-22 | 各種普及啓発 | プランター展示 | ○ | | ○ | | | ○ | | | オオガハスの普及啓発のため、市内各所でオオガハスのプランター展示を行なう。 | 1 | 6 | 設置箇所数 | 1 | 8 | 設置箇所数 | 都市 | 緑政課 |
| 1-23 | 各種普及啓発 | 緑と水辺の児童絵画コンクール | | ○ | | | | | ○ | | 市内小学1年から3年生を対象とした、「緑と水辺」をテーマとした絵画コンクールを実施し、表彰する。 | 1 | 230 | 作品数 | 1 | 230 | 作品数 | 都市 | 緑政課 |
| 1-24 | 各種普及啓発 | 市の木・花・四季の花等の緑化意識の普及 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | | 市の木・花等の緑化意識の普及として、小学校に出張して授業を行う「出張教室」、オオガハスを各小学校に分根する「学校分根」などを実施 | 1 | 10 | 学校数 | 1 | 8 | 学校数 | 都市 | 緑政課 |
| 1-25 | 各種普及啓発 | 花壇コンクール | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | 参加者に花の種を配布し、種まきから花壇の育成をしていただき、出来栄を競い、これを表彰する。 | 1 | 46 | 団体数 | 1 | 43 | 団体数 | 都市 | 緑政課 |
| 1-26 | 各種普及啓発 | フラワーフェスティバル | | | ○ | | | | ○ | | 花のあふれるまちづくりを実現する成果発表の場として、コンテナガーデン等のコンテストや花にまつわる催しを行い、秋の賑わいを演出する。 | 1 | 1,000 | コンテナガーデンコンテストは | 1 | 1,000 | コンテナガーデンコンテストは | 都市 | 緑政課 |

| No. | 事業項目 | 事業名称 | 対象 | | | 備考 | 視点 | | | | 事業内容 | R6年度実施予定 | | R4年度実績 | | | 局 | 担当課 | | |
|------|----------|--------------------------|----|-----|----|-----------------|-----------|-----------|-----------|------------|------|--|--------|--------|---|-----------------|--------------------|---|----|------------------|
| | | | 家庭 | 学校等 | 社会 | | 視点1 協働 | 視点2 体験 | 視点3 人材 | 視点4 ICT | | 予定回数 | 参加者予定数 | 備考 | 実施回数 | 参加者数 | | | 備考 | |
| 2-1 | 各種講座等の実施 | 千葉市ZEBセミナー | | | ○ | | ○ | | | | | 市内の建築物のZEB化がわずかな件数に留まるなど普及が進んでいないことを踏まえ、市内事業者を対象としたZEBセミナーを開催し、事業者の理解を深めることで、ZEB導入を促進する。 | 予定なし | | | 1回 | 35 | | 環境 | 環境保全課 |
| 2-2 | 各種講座等の実施 | 谷津田の自然体験教室 | ○ | | | | | ○ | ○ | | | 市内の自然環境について理解を深め、地域における自然保護活動を率先して行える指導者や実践者を育成するため体験を主とした講座を実施。 | 6 | 110 | | 5 | 58 | | 環境 | 環境保全課 自然保護対策室 |
| 2-3 | 各種講座等の実施 | 大草谷津田いきもの里 自然観察会 | ○ | | | | | ○ | ○ | | | 谷津田の自然を身近に感じるため大草谷津田いきもの里において自然観察会を開催。 | 11 | 165 | | 10 | 188 | | 環境 | 環境保全課 自然保護対策室 |
| 2-4 | 各種講座等の実施 | ふれあい自然観察会 | ○ | | | | | ○ | ○ | | | 身近な自然に親しむ機会を創出し、市民が自然への認識と愛情を育む自然保護教育の一環として、自然観察会を開催。 | 2 | 40 | | 2 | 38 | | 環境 | 環境保全課 自然保護対策室 |
| 2-5 | 各種講座等の実施 | 水辺環境調査(水辺いきもの探索隊) | | ○ | | | | ○ | | | | 小学校等において市内の身近な河川等に生息する生物の観察・ふれあいや自らが行う水質検査等の体験学習を行い、市民の身近な水辺環境保全に対する意識の高揚を図る。 | 1 | - | | 1 | 27 | | 環境 | 環境保全課 自然保護対策室 |
| 2-6 | 各種講座等の実施 | 公害防止管理者等指導育成事業 | | | ○ | | | | | ○ | | 特定工場における公害防止組織の整備に関する法律に基づき特定工場において選任される公害防止管理者等に、必要な知識及び技能を習得させるための研修会、情報発信及び講師派遣を行う(県、市、船橋市及び柏市で共同実施)。 | 6 | 500程度 | R4と同程度の開催を予定 | 6 | 511 | | 環境 | 環境保全課 |
| 2-7 | 各種講座等の実施 | 公民館講座 | ○ | | ○ | | ○ | ○ | | | | 地域における環境学習の充実を図るため、公民館での環境教育講座を実施している。 | 10講座 | | | 10講座 | 193 | | 環境 | 脱炭素推進課 |
| 2-8 | 各種講座等の実施 | ESD研修 | | ○ | | 教職員 | ○ | | ○ | | | 教職員の環境に関する資質向上のため、最新の環境教育の情報の共有や、持続可能な社会の担い手づくりのための環境手法等についての研修を行っている。 | 1 | 53 | | 1 | 10 | | 環境 | 脱炭素推進課 |
| 2-9 | 各種講座等の実施 | 植樹体験 | ○ | | | 未就学児を対象 | | ○ | ○ | | | 未就学児を対象にした植樹体験を実施し、幼少期から木に親しんでもらうことで、環境意識の醸成を図る。 | 1 | 未定 | | | | | 環境 | 脱炭素推進課 |
| 2-10 | 各種講座等の実施 | 地域団体や事業者と連携した啓発イベントの実施 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | | | 地域と一体となり、様々な機会を捉えより多くの市民への啓発を行うため、地域団体や事業者との協同による各種啓発イベントを実施する。(参考 R4:ジェフの夏休み) | 1 | - | | 1 | - | | 環境 | 脱炭素推進課 |
| 2-11 | 各種講座等の実施 | へらそうくんルーム | | ○ | | 幼稚園 保育所(園) | | ○ | | | | 廃棄物の削減を実践するための考え方である3Rの考え方に慣れ親しんでもらうために、市内保育所(園)、幼稚園において、紙芝居や分別ゲーム、O×クイズなど啓発活動を実施する。 | 12 | 400 | 実施予定回数、参加予定者数 | 12 | 422 | 実施回数、参加者数 | 環境 | 廃棄物対策課 |
| 2-12 | 各種講座等の実施 | ごみ分別スクール | | ○ | | 小学校(4年生) | | ○ | | ○ | | 「本市のごみ処理の現状」、「ごみ出しルール」、「リサイクルの流れ」等について説明するとともに、ごみの分別体験やバックカーによる実演を行う。 | 107 | 7,600 | 実施予定回数、参加予定者数 | 108 | 7,661 | 実施回数、参加者数 | 環境 | 廃棄物対策課 |
| 2-13 | 各種講座等の実施 | 市民向け説明会(今すぐ実践!ごみ減量講習会 他) | ○ | | ○ | | ○ | | ○ | | | 町内自治会や地域団体等の申請に基づき、ごみ処理の現状や、具体的なごみの減量方法や分別ルールなどを説明する講習会を開催する。 | - | - | 町内自治会等からの申込みにより実施している | 出前講座 1 講習会 6 | 出前講座 17 講習会 154 | 実施回数、参加者数 | 環境 | 廃棄物対策課 |
| 2-14 | 各種講座等の実施 | 海洋プラスチックごみ削減ワークショップ | | ○ | | 高校生以上の学生 | | ○ | ○ | | | 国際的な問題となっているマイクロプラスチックごみの現状に対する認識を深めていただくとともに、今後、プラスチックと賢く付き合っていくための意識醸成を目指し、高校生以上の学生を対象としたワークショップを開催する。 | 1 | 15 | 実施予定回数、申込定員数 | 1 | 7 | 実施回数、参加者数 | 環境 | 廃棄物対策課 |
| 2-15 | 各種講座等の実施 | 食品ロス削減ワークショップ | | ○ | | 高校生以上の学生 | | | ○ | | | 食品ロスの削減及び食べ物を「ごみ」としない意識の醸成を目指し、高校生以上の学生を対象としたワークショップを開催する。 | 1 | 20 | 実施予定回数、申込定員数 | 1 | 21 | 実施回数、参加者数 | 環境 | 廃棄物対策課 |
| 2-16 | 各種講座等の実施 | 親子チャレンジ教室 | ○ | | | | ○ | ○ | | | | 家庭から排出される「びん・缶・ペットボトル」等の適正処分やリサイクルを作業風景やビデオ視聴で把握してもらうとともに、使用済牛乳パック紙を利用した紙すきはがき作り等の体験から、資源の重要性等を啓発する。 | 0 | 0 | 管理棟内工事実施のため中止 | 0 | 0 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 | 環境 | 新浜リサイクルセンター |
| 2-17 | 各種講座等の実施 | 消費者教育の推進 | ○ | ○ | ○ | 小・中・高校等 地域団体 | ○ | ○ | ○ | ○ | | くらしの巡回講座、消費生活講座、情報紙「くらしの情報いずみ」、イベント等で、環境に配慮した消費行動に関する啓発や情報提供を行う。 | - | - | 申込に応じて講座を実施 | 5 | 47 | 「エンカル消費」等をテーマとした講座・講演会の実績 | 市民 | 消費生活センター |
| 2-18 | 各種講座等の実施 | 自然観察講座 | ○ | | | | ○ | ○ | | | | 千葉市都市緑化植物園及び県内の山林・浴道・里山・水辺などで野外観察会等を行う。 | 15 | 237 | 「みどりの教室」と「身近な自然を学ぶ講座」の2件 * コロナ禍の影響で、定員を半分にしている開催 | 14 | 181 | 「みどりの教室」と「身近な自然を学ぶ講座」の2件 * コロナ禍の影響で、定員を半分にしている開催 | 都市 | 公園管理課 |
| 2-19 | 各種講座等の実施 | 園内ガイドツアー | ○ | | | | ○ | ○ | | | | 千葉市都市緑化植物園で園内ガイドツアーを行う。 | 4 | 80 | 4~7月に計4回を計画 | 6 | 105 | 春季、秋季に4回を実施 | 都市 | 公園管理課 |
| 2-20 | 各種講座等の実施 | 自然観察会 | ○ | | | | | ○ | | | | 講師を招き、稲毛浜公園の生き物や樹木を参加者と一緒に観察して学習する。 | 4 | 80 | | 4 | 78 | | 都市 | 中央・美浜公園緑地事務所 |
| 2-21 | 各種講座等の実施 | 花見川及び花島公園周辺の自然観察会 | ○ | | | | ○ | | | | | 花見川周辺の自然と歴史をテーマにして、公園利用者に対し自然観察会を実施する。 | 3 | 45 | | 2 | 31 | 3回予定のうち1回は7月実施予定であったが、雨天中止となった。 | 都市 | 花見川・稲毛公園緑地事務所 |
| 2-22 | 各種講座等の実施 | カタクリガイド | ○ | | | | | ○ | | | | ボランティアガイドの案内で、泉自然公園内に自生するカタクリ等の野草の観察会を実施する。 | 5 | 50 | | 5 | 21 | 降雨により来園者が少なかった | 都市 | 若葉公園緑地事務所 |

| No. | 事業項目 | 事業名称 | 対象 | | | 備考 | 視点 | | | | 事業内容 | R6年度実施予定 | | R4年度実績 | | | 局 | 担当課 | | |
|------|----------|----------------------|----|-----|----|----------------|-----------|-----------|-----------|------------|------|--|--------|--------|---------------------------|------|-------|--|-------|-------------|
| | | | 家庭 | 学校等 | 社会 | | 視点1 協働 | 視点2 体験 | 視点3 人材 | 視点4 ICT | | 予定回数 | 参加者予定数 | 備考 | 実施回数 | 参加者数 | | | 備考 | |
| 2-23 | 各種講座等の実施 | 野鳥・野草ボランティアガイド | ○ | | | | | ○ | | | | ボランティアガイドの案内で、泉自然公園園内で見ることが出来る野鳥・野草の観察会を実施する。 | 45 | 270 | | 38 | 244 | | 都市 | 若葉公園緑地事務所 |
| 2-24 | 各種講座等の実施 | 星の観察会 | ○ | | | | | ○ | | | | 千葉市科学館と連携し、泉自然公園園内で星空の観察を実施する。 | 2 | 80 | | 1 | 36 | | 都市 | 若葉公園緑地事務所 |
| 2-25 | 各種講座等の実施 | 都川水の里公園稲作体験講座 | ○ | | | | | ○ | | | | 都川の田んぼで田植えから稲刈りまで体験してもらい、また稲作に関する講座を開く。 | 7 | 48 | | 7 | 48 | | 都市 | 若葉公園緑地事務所 |
| 2-26 | 各種講座等の実施 | 昭和の森自然観察会 | ○ | | | | | ○ | ○ | | | 緑化意識の向上や自然保護の教育、公園利用者の促進を図るため、自然観察会を実施する。 | 12 | 180 | | 12 | 188 | | 都市 | 緑公園緑地事務所 |
| 2-27 | 各種講座等の実施 | 昭和の森 親子田んぼ教室 | ○ | | | | | ○ | ○ | | | 昭和の森の田んぼにおいて、田植えから稲刈りまで体験できる教室を開催する。 | 3 | 50 | | 2 | 58 | | 都市 | 緑公園緑地事務所 |
| 2-28 | 各種講座等の実施 | 昭和の森ホテル観賞会 | ○ | | | | | ○ | ○ | | | 昭和の森内で発生するゲンジボタルの観察会を実施する。 | 5 | 2200 | | 2 | 2267 | | 都市 | 緑公園緑地事務所 |
| 2-29 | 各種講座等の実施 | 昭和の森カタクリ観賞会 | ○ | | | | | ○ | ○ | | | 昭和の森内に自生するカタクリ等の野草の観察会を実施する。 | 4 | 200 | | 2 | 232 | | 都市 | 緑公園緑地事務所 |
| 2-30 | 各種講座等の実施 | ハス守さん養成講座 | ○ | | ○ | | | ○ | ○ | | | 「オオガハス」に関する知識や栽培方法を習得し、オオガハスの名所や栽培地における学習・栽培・ガイド・イベント等のボランティアとして活躍する人材を養成する | 1 | 8 | 受講者数 | 1 | 13 | 受講者数 | 都市 | 緑政課 |
| 2-31 | 各種講座等の実施 | 緑と花の園芸講座 | ○ | | ○ | | | ○ | ○ | | | 年に8回園芸に関する講座を実施し、市民の園芸知識や技術を高めるもの。 | 8 | 20 | 講座1回あたりの参加者数 | 8 | 15 | 講座1回あたりの参加者数 | 都市 | 緑政課 |
| 2-32 | 各種講座等の実施 | 動物公園「出張授業」「園内授業」 | | ○ | | | | | | ○ | | 理科や環境教育への支援のため、小学校に外向き授業を実施。ICTを活用したりモット授業への取り組みを検討している。 | 6 | 4,000 | | 6 | 3,708 | | 都市 | 動物公園 |
| 2-33 | 各種講座等の実施 | アカデミア・アニマリウム「動物講演会」 | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | | 「科学的情報の市民への開放」と、「市民の学びの場」となることを目的とした動物と動物をとりまく環境をテーマにした講演会。園職員だけでなく、外部機関(学校、研究・学術団体、企業など)との連携により、科学的・専門的な情報の発信を行っている。 | 25 | 1600 | | 24 | 1580 | | 都市 | 動物公園 |
| 2-34 | 各種講座等の実施 | 動物の生態から学ぶSDGsワークショップ | ○ | | ○ | | | ○ | ○ | | | 来園者を対象としたワークショップ形式の教育プログラム。動物の解説や観察を通じてSDGs17つの目標それぞれに通ずる生態を学び、その生態からヒントを得ることで、SDGs達成のために人間がどのように行動すべきかを議論して自分事化につなげることを目的としている。 | 5 | 75 | | 4 | 60 | | 都市 | 動物公園 |
| 2-35 | 各種講座等の実施 | 下水道教室 | ○ | | | | | ○ | | | | 家庭から排出された汚水がどのように処理され自然に戻されるのか、子ども達に施設見学や実験などを通して下水道の役割を楽しく学んでもらい、理解を深めてもらう。 | 1 | 480 | 開催回数1回(6日間)、来場者数計 | 1 | 146 | 開催回数1回(4日間)、来場者数計 | 建設 | 下水道営業課 |
| 2-36 | 各種講座等の実施 | 出張下水道教室 | ○ | | | | | ○ | | | | 子ども達に実験・イベント参加などを通して下水道の役割を楽しく学んでもらう。 | 2 | 1300 | 開催回数、来場者数 | 2 | 979 | 開催回数、来場者数 | 建設 | 下水道営業課 |
| 2-37 | 各種講座等の実施 | 環境教育講座(各公民館) | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ | | 家庭から出る生ごみをたい肥にする方法を学び、ごみの減量について考える「自然農法教室」や、食材を無駄なく調理する方法を学び、環境に優しい生活を考えるきっかけとする「エコな料理教室」等を実施した。 | 48 | 734 | | 49 | 666 | | 教育委員会 | 生涯学習振興課 |
| 2-38 | 各種講座等の実施 | 自然観察ワークショップ | ○ | | | | | ○ | ○ | | | 加曽利貝塚とその周辺の豊かな自然環境の中で、植物や野鳥などの生態を学ぶワークショップを実施する。 | 2 | 60 | | 1 | 11 | 天候不順で春は中止。 | 教育委員会 | 加曽利貝塚博物館 |
| 3-1 | 市有施設等の見学 | ごみ処理施設見学ツアー | ○ | ○ | | 小学校(4～6年生と保護者) | | ○ | | | | 小学4～6年生の児童及びその保護者を対象とし、工場見学、動画鑑賞、体験学習などを通してリサイクルについて学べるツアーを夏休み期間に実施する。 | - | - | ※当面の間実施を見合わせている。 | - | - | ※当面の間実施を見合わせている。 | 環境 | 廃棄物対策課 |
| 3-2 | 市有施設等の見学 | 清掃工場施設見学会(新港清掃工場) | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | | 工場施設案内ビデオの上映 工場内の見学、職員による案内・説明 質疑応答を行う | - | - | 申込に応じて実施 | 14 | 186 | ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止していたが、令和4年7月1日から再開 | 環境 | 新港清掃工場 |
| 3-3 | 市有施設等の見学 | 清掃工場施設見学会(北清掃工場) | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | | 工場施設案内ビデオの上映 工場内の見学、職員による案内・説明 質疑応答を行う | 20 | 100 | R4年度実績の約2倍 | 9 | 49 | | 環境 | 北清掃工場 |
| 3-4 | 市有施設等の見学 | 新浜リサイクルセンター施設見学 | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | | 家庭から排出される『不燃ごみ』『粗大ごみ』『びん・缶・ペットボトル』『有害ごみ』の適正処分やリサイクルを作業風景やビデオ視聴で把握してもらい、ごみの減量化や排出時の分別方法の重要性を啓発する。 | - | - | 管理棟内工事実施のため7月1日から2月末日まで中止 | 12 | 118 | | 環境 | 新浜リサイクルセンター |
| 3-5 | 市有施設等の見学 | 最終処分場施設見学 | ○ | ○ | ○ | 自治会、小中学校等 | | ○ | ○ | | | 市で唯一稼働している最終処分場を見学することで、埋立可能な容量が少ないことを実際に見てもらい、ごみ削減の意識を持ってもらう。 | 1 | 20 | 更科自治会 | 1 | 15 | 更科自治会 | 環境 | 廃棄物埋立管理事務所 |
| 3-6 | 市有施設等の見学 | 施設見学会(中央浄化センター) | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | | 実際に汚水の処理をしている過程を見学したり、室内で水をきれいにする仕組みを説明する。 | - | - | 申込みに応じて実施 | 3 | 14 | | 建設 | 中央浄化センター |
| 3-7 | 市有施設等の見学 | 施設見学会(南部浄化センター) | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | | 下水道の基礎のビデオ上映。 浄化センターの概要及び施設見学を行う。 | 4 | 245 | | 3 | 40 | | 建設 | 南部浄化センター |

| No. | 事業項目 | 事業名称 | 対象 | | | 備考 | 視点 | | | | 事業内容 | R6年度実施予定 | | | R4年度実績 | | | 局 | 担当課 | |
|-----|---------------|-----------------------------|----|-----|----|-----|-----------|-----------|-----------|------------|---|---------------|---------|---|---------------|---------|---|------|------------------|-------|
| | | | 家庭 | 学校等 | 社会 | | 視点1 協働 | 視点2 体験 | 視点3 人材 | 視点4 ICT | | 予定回数 | 参加者予定数 | 備考 | 実施回数 | 参加者数 | 備考 | | | |
| 4-1 | 場の認定及び整備・活用 | 谷津田の保全推進 | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | | 谷津田において伝統的な農村風景の回復とさまざまな生きものが暮らす自然環境を保全するため、土地所有者及びボランティア活動団体と協定を締結し、市民が自然にふれることができる場として整備する。 | 6 | - | | 6 | - | ※活動協定団体数 | 環境 | 環境保全課 自然保護対策室 | |
| 4-2 | 場の認定及び整備・活用 | 里山の保全推進事業 | ○ | | ○ | | ○ | ○ | | | 市民の身近な自然である里山を保全するため「里山地区」を指定し、森林所有者や森林ボランティアなどと協力し、市民参加による森林の保全管理を推進している。 | 170 | 1,700 | | 166 | 1,678 | | 経済農政 | 農業経営支援課 | |
| 4-3 | 場の認定及び整備・活用 | 新清掃工場(北谷津用地)周辺施設の整備 | | | ○ | | | ○ | | | 新清掃工場(北谷津用地)の建設を契機に、環境学習拠点としての整備を行う。(現在は事業内容を検討中。) | | | | | | | 環境 | 廃棄物施設整備課 | |
| 4-4 | 場の認定及び整備・活用 | 市民の森の保全 | ○ | | | | ○ | | | | 市民の森は優れた自然環境を有する相当規模の樹林地を土地所有者と使用賃借契約を締結し、自然に身近にふれあえる場として市民に開放する制度である。清掃など維持管理の一部を地域住民により行う。 | 192 | 1,800 | 維持管理に関する業務を行う団体の清掃活動 | 221 | 1,851 | 維持管理に関する業務を行う団体の清掃活動 | 都市 | 公園管理課 | |
| 4-5 | 場の認定及び整備・活用 | 市民緑地の設置 | ○ | | | | ○ | | | | 市民緑地は都市緑地法に基づき土地所有者と千葉市が契約を結び、市民利用に供することができる緑地等を設置・管理する制度である。所有者・市民団体・市の3者で協定を結び、市と市民団体で維持管理を行う。 | 456 | 7,000 | 市民団体の清掃活動 | 1241 | 7,030 | 市民団体の清掃活動 | 都市 | 公園管理課 | |
| 4-6 | 場の認定及び整備・活用 | 公園緑地の整備 | ○ | | ○ | | | | | | 公園緑地の整備による、都市における身近な自然環境の確保 | - | - | | - | - | | 都市 | 公園建設課 | |
| 4-7 | 場の認定及び整備・活用 | 太陽光発電の公共施設への導入 | ○ | | | | | ○ | | | 公共施設への設置 | - | - | | - | - | | 建設 | 建築設備課 | |
| 5-1 | 環境情報の発信・提供 | 「千葉市環境白書」の発行 | ○ | ○ | ○ | | ○ | | ○ | | ・市民に向けて市の環境の状況、環境施策の実施状況等とりまとめ公表する事業。 ・また、環境基本計画の点検評価結果についても合わせて記載している。 ・毎年12月～1月頃に発行。 | 180部印刷 | | | 180部印刷 | | | | 環境 | 環境総務課 |
| 5-2 | 環境情報の発信・提供 | 広報紙「GO!GO!へらそうくん」の発行 | ○ | | | | ○ | | ○ | | 市民の廃棄物行政に対する意識の啓発を図るため、年1回、廃棄物行政の現状、市の施策等に関する情報提供をする広報紙を発行する。 | 1 | 470,000 | 発行予定回数、発行予定部数 | 1 | 470,685 | 発行回数、発行部数 | 環境 | 廃棄物対策課 | |
| 5-3 | 環境情報の発信・提供 | ホームページによる情報提供(廃棄物対策課) | ○ | | | | ○ | | ○ | | 市ホームページにおいて、廃棄物行政の現状、市の施策等に関する情報提供をする。 | - | - | 適宜、市ホームページにおいて、廃棄物行政の現状、市の施策等に関する情報提供をする。 | - | - | 適宜、市ホームページにおいて、廃棄物行政の現状、市の施策等に関する情報提供をした。 | 環境 | 廃棄物対策課 | |
| 5-4 | 環境情報の発信・提供 | ホームページによる情報提供(収集業務課) | ○ | | | | | | | | 家庭ごみ等に関する情報をインターネットホームページで提供する。 | - | - | | - | - | | 環境 | 収集業務課 | |
| 6-1 | 活動の支援 | 地域環境保全自主活動補助金交付事業 | | | ○ | | ○ | ○ | | | 環境保全に関する知識の普及啓発事業や地域の環境保全活動を行っている団体に対して補助金を交付している。 | 7 | - | | 0 | - | ※助成団体数 | 環境 | 環境保全課 自然保護対策室 | |
| 6-2 | 活動の支援 | 木育の推進 | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | | 幼少期から木に触れることで、環境意識の醸成を図るため、市内保育所等への木育おもちゃの配布や木育イベントを実施する。 | 1 | 305 | 昨年度の未場者数(木育イベントのみ) | 1 | 305 | 来場者数(木育イベントのみ) | 環境 | 環境保全課 | |
| 6-3 | 活動の支援 | 環境学習重点実施校指定事業 | | ○ | | | ○ | ○ | | ○ | 環境保全活動に参加する意識の向上や環境問題の解決に向けた能力の育成を図るため、市内小中学校12校を環境学習重点実施校として指定する。 | 小中学校12校 | | | 小中学校12校 | | | 環境 | 脱炭素推進課 | |
| 6-4 | 活動の支援 | 環境副読本「エコエコ大作戦」、「環境学習ハンドブック」 | | ○ | | | | | ○ | ○ | 作成した環境教育教材を市内小学校4年生、中学校1年生全員に配布し、各教科や総合的な学習の時間において活用する。 | 9100部・デジタル版発行 | | | 9100部・デジタル版発行 | | | 環境 | 脱炭素推進課 | |
| 6-5 | 活動の支援 | 生ごみ資源化アドバイザー派遣事業 | | | ○ | | ○ | ○ | | | 生ごみの減量及び資源化に関する専門知識を有する「生ごみ資源化アドバイザー」を地域団体等からの申請に基づき派遣し、助言・技術指導を行い、生ごみの減量及び資源化に関する知識の普及啓発を図る。 | 20 | 400 | 派遣回数、参加者数 | 5 | 212 | 派遣回数、参加者数 | 環境 | 廃棄物対策課 | |
| 6-6 | 活動の支援 | 合併処理浄化槽設置事業 | ○ | | ○ | | | | | | 下水道計画区域及び農業集落排水事業採択区域以外で単独処理浄化槽または汲り便槽から合併処理浄化槽へと転換する場合に、合併処理浄化槽設置者に対して実施。 | 4 | - | 設置補助件数 | 4 | - | 設置補助件数 | 環境 | 収集業務課 | |
| 6-7 | 活動の支援 | きれいなまちづくり事業助成 | | | ○ | | | | | | 千葉市を美しくする会が行っている「きれいなまちづくり事業助成」制度(清掃活動に意欲的に取り組んでいる団体に対し、清掃用具購入費等活動費用を助成)を支援した。 | 10 | - | 助成団体数 | 9 | - | 助成団体数 | 市民 | 市民自治推進課 | |
| 6-8 | 活動の支援 | 下水道副読本「下水道を学ぼう。」 | | ○ | | 小学校 | | | ○ | | 作成した下水道教育教材を市内小学校4年生全員に配布し、各教科や総合的な学習の時間において活用する。 | - | 8700 | 配付部数 | - | 8600 | 配付部数 | 建設 | 下水道営業課 | |
| 7-1 | イベント等への協力及び出席 | エコメッセ開催 | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | 民間団体等とのパートナーシップの構築を図るとともに協働事業を推進することを目的に、県内の環境団体の祭典として行われている「エコメッセちば」に、実行委員会の副委員長及び実行委員として参加している。 | 1 | 140 | | 1 | 140 | | 環境 | 環境保全課 | |
| 8-1 | 人材育成事業 | スキルアップ講座 | | | ○ | | | ○ | ○ | | 谷津田で活動する団体等のボランティア活動の技術向上を目的に開催する。 | 1 | 20 | | 1 | 16 | | 環境 | 環境保全課 自然保護対策室 | |
| 8-2 | 人材育成事業 | 生ごみ資源化アドバイザー養成事業 | ○ | | | | | | ○ | | 生ごみの減量及び生ごみ資源化に関する専門知識を有する「生ごみ資源化アドバイザー」を養成する。 | - | 45 | アドバイザー登録者数 | 4 | 36 | アドバイザー登録者数 | 環境 | 廃棄物対策課 | |
| 8-3 | 人材育成事業 | 森林ボランティア推進事業 | ○ | | ○ | | ○ | ○ | | | 市民を対象に下刈り、枝打ち、間伐などの森林整備を中心とした技術研修会を開催し、森林ボランティア活動への参加を推進している。またボランティア団体を対象に安全研修会や救命講習会を開催している。 | 3 | 60 | 技術研修会 10月 安全研修会 1月 林業体験教室 2月 | 3 | 53 | 技術研修会 10月 安全研修会 1月 林業体験教室 2月 | 経済農政 | 農業経営支援課 | |

| No. | 事業項目 | 事業名称 | 対象 | | | 備考 | 視点 | | | | 事業内容 | R5年度実施予定 | | 備考 | R4年度実績 | | 備考 | 局 | 担当課 |
|-----|---------|----------------------|----|-----|----|-------------|-----------|-----------|-----------|------------|--|----------|--------|-------------|--------|-------|-----------------------------|------|------------------|
| | | | 家庭 | 学校等 | 社会 | | 視点1 協働 | 視点2 体験 | 視点3 人材 | 視点4 ICT | | 予定回数 | 参加者予定数 | | 実施回数 | 参加者数 | | | |
| 9-1 | 協働取組の推進 | 水辺環境保全推進員の意見交換会 | | | ○ | | ○ | | | | 生活排水対策に関する啓発活動その他の河川又は海域の水質浄化等のための地域実践活動に取り組む水辺環境保全推進員と市で、2年の任期ごとに意見交換会を実施。 | - | - | | 0 | 0 | 適宜開催 | 経済農政 | 環境保全課 自然保護対策室 |
| 9-2 | 協働取組の推進 | 大草谷津田いきものの里 活動者意見交換会 | | | ○ | | ○ | | | | 大草谷津田いきものの里内で活動するボランティア団体と市が定例で活動調整会を開催し、大草の保全に関する意見交換を実施。 | 4 | - | | 4 | - | 適宜開催 | 経済農政 | 環境保全課 自然保護対策室 |
| 9-3 | 協働取組の推進 | フェアトレードの推進 | | | ○ | | ○ | | | | 千葉市にフェアトレードの輪を広げる団体・事業者等と連携し、フェアトレード製品の普及や、イベントの開催、啓発講座を通して市民の国際理解を深める。 | 5 | - | イベント開催・参加回数 | 3 | - | イベント開催・参加回数 | 総務 | 国際交流課 |
| 9-4 | 協働取組の推進 | 千葉市民活動支援センターの設置 | | | ○ | | ○ | | | | 会議室等の貸出し、情報提供や相談、市民活動団体間の交流及び連携の促進等の事業を通じて、市民公益活動の促進を図った。 | - | - | | - | - | | 市民 | 市民自治推進課 |
| 9-5 | 協働取組の推進 | こてはし台調整池協働作業 | | ○ | ○ | 小学校 地域団体 | ○ | ○ | | | こてはし台調整池水辺を守る会、こてはし台小学校及び千葉市の協力のもと、こてはし台調整池周辺の生活環境向上に寄与することを目的として、年2回程度こてはし台調整池の草刈りや清掃を協働して実施するものです。 | 1 | 20 | | 0 | 20名程度 | ※コロナ禍のため、市との協働作業は無く、委託にて対応。 | 建設 | 下水道維持課 |